

# 地球電磁気・地球惑星圏学会

## SOCIETY OF GEOMAGNETISM AND EARTH, PLANETARY AND SPACE SCIENCES (SGEPSS)

第133号 会報 1991年7月20日

### 目次

	頁	頁
1. 第90回総会並びに講演会開催のお知らせ	1-4	6. 第15期地球電磁気研連委員候補者選出
講演申込用紙	2	7. 研究会開催案内
予稿原稿フォーマット	3	8. 研究助成金案内
2. 第90回総会並びに講演会の会場、宿泊案内	4-6	9. 人事公募
3. 第163回運営委員会報告	6	10. 抄録員募集
4. 国際学術研究集会出席補助金受領者	6	1.1. 計報
5. 新入会員	6-7	1.2. 地球惑星科学関連学会連絡会と ニュースの発行について
		10

### 1. 第90回総会並びに講演会開催のお知らせ

第90回総会ならびに講演会は琉球大学工学部のお世話により下記の通り開催されます。

○期間：1991年10月2日（水）～4日（金）

○会場：琉球大学工学部

○講演申込および予稿原稿送り先：

★地球内部および月・固体惑星関係

〒606-01京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部地質学鉱物学教室 鳥居雅之宛

★太陽・惑星間空間・地球・惑星電磁圏および地球・惑星大気関係

〒311-12茨城県那珂湊市磯崎町3601

通信総合研究所平磯宇宙環境センター 小川忠彦宛

○締め切り日は8月26日（月）必着です。締め切り日以降に到着した申込は自動的に却下いたします。電話やFAXによる申込や遅延依頼は受け付けません。

○次頁の講演申込用紙をコピーしたものに記入して、予稿原稿とともにお送り下さい。なお、講演申込用紙の氏名、所属はプログラム編集・印刷の都合上、必ず日本語でお願い致します。（講演題目は英語でも結構です。）

外国人の氏名はアルファベット表記でも差し支えありませんが、所属はできるだけ日本語で表示して下さい。

○非会員のみによる講演申込は受け付けません。筆頭著者（ファーストオーサー）になれるのは一人一講演に限ります。

○予稿原稿は、規定の枠（A4：3頁参照）にあうようにワープロで印刷されるか、あるいは黒色のインク、ボールペンなどで丁寧に手書きして下さい。

講演申し込み用紙

(コピーしてお使いください)

1. 題目: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

2. 氏名 (所属): \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ (日本語で記入してください)

3. 発表分野 (○をして下さい。複数可)

- A 地球内部: 1.主磁場 2.電気伝導度 3.地殻活動電磁気学 4.磁気異常  
5.岩石磁気・古地磁気 6.その他 ( )
- B 固体惑星: 1.太陽系 2.月・隕石 3.比較惑星 4.その他 ( )
- C 太陽・惑星間空間: 1.太陽・太陽大気 2.太陽磁気圏構造 3.惑星間空間擾乱 4.宇宙線  
5.太陽風・磁気圏相互作用 6.その他 ( )
- D 地球・惑星電磁圏: 1.磁気圏構造 2.電離圏構造 3.磁気圏電離圏結合 4.オーロラダイナミクス  
5.磁気圏プラズマ波動 6.ULF波動 7.惑星電磁圏 8.その他 ( )
- E 地球・惑星大気圏: 1.大気圏力学 2.大気圏化学 3.大気圏放射 4.惑星大気  
5.その他 ( )

4. 発表形式: 1.口頭 2.ポスター 3.どちらでも可  
(必ずしもご希望に添えないことがあります)

5. 映像装置: 1.ビデオ装置 (VHSのみ) ・ 2.映写機 (8ミリ)

6. 発表順位: 以下の講演の (前/後) を希望します。

著者: \_\_\_\_\_

題目: \_\_\_\_\_

7. 予稿原稿は次ページのフォーマットに従って、A4用紙にできるだけワープロで清書してください。

8. 予稿原稿のコピーを必ず1枚同封してください。

9. その他ご希望、ご意見などがありましたら以下にお願いいたします。

-----切り取り-----

地球電磁気・地球惑星圏学会総会委任状

第90回総会の議決に関し、 \_\_\_\_\_ 会員 (記入なき場合には議長) に委任  
します。

氏名 \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_

# 予稿原稿フォーマット

(A4用紙の外枠)

12mm	35mm	15mm	12mm
10mm	(番号) 題目		
25mm	著者 (所属)		
25mm	Title	連名の場合は、スピーカーの左肩に丸印を付ける。グループで申し込む場合も、スピーカーを明示する。	
	Name (Affiliation)		
英文アブストラクト (本文が英語の場合は不用)			
本文 (英文は段組しない)		注意	
コピーを同封してください		1.この枠は範囲を示すもので、印刷されません。	
		2.原稿は約80%に縮小され、B5版になります。文字が小さくなりすぎないように注意してください。	
		3.ワープロの印字が薄すぎないように注意してください。手書きの方は、黒インクを使ってください。鉛筆やボールペンではきれいに印刷されません。	
		4.鮮明であれば、B4用紙に書いたものをA4に縮小してもさしつかえありません。ただし、図などは原版をお使いください。	
		5.このページを141%に拡大コピーすると、ほぼ原寸の原稿用紙になりますので、枠として使えます。	
	8mm		15mm

- プログラム編集が迅速に行なえるように、予稿原稿のコピーを必ず一部同封してお送り下さい。
- 口頭発表の時間は15分（講演12分、質疑3分）以内です。
- 限られた会期を有効に利用するために、ポスターセッションを特に分野を定めずに約50件の発表を予定しておりますので奮ってお申し込み下さい。ポスター発表・口頭発表の区分はご希望にできるだけ従いますが、プログラム構成の都合上ご希望の区分以外での発表をお願いすることがありますので、ご協力下さるようお願いいたします。
- ポスターは3日間掲示可能ですから、できるだけ第1日より展示してください。
- ポスターの掲示板は、縦180cm、横90cmのベニヤ板1枚です。画鋏・セロテープなどは会場に用意いたします。
- 緊急の話題のために、約5件のポスタースペースを確保いたします。発表希望者は9月30日までに関係のプログラム委員に申し込んで下さい。
- 講演・ポスター発表の際にビデオ（VHS）もしくは映写機（8ミリ）を使われる方は、その旨、プログラム申込用紙にご記入下さい。
- 田中館賞候補者推薦は8月31日（土）までに西田篤弘会長宛必要書類（推薦書、被推薦者履歴書、業績リスト、関係論文刷り等各11部）をお送り下さい。
- 総会議題の申込も8月31日（土）までに会長宛書面をお願いします。

## 2. 第90回総会並びに講演会の会場案内

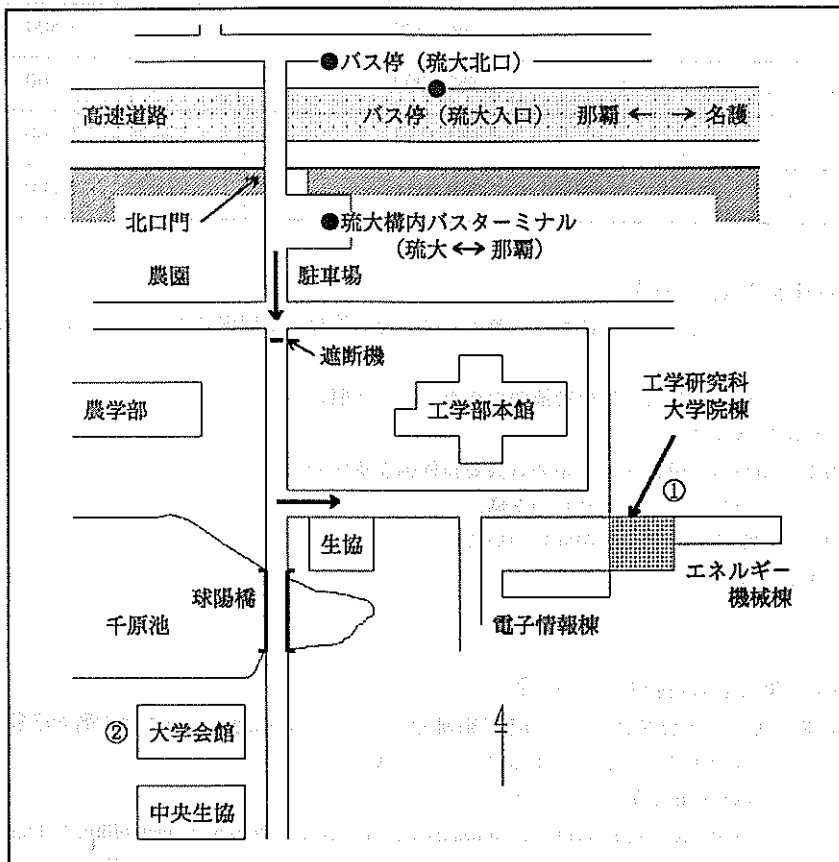
- [参考データ] 過去30年間の10月1日～5日の那覇の気温
  - 平均最高気温28.5～28.2度（東京23.3～22.6度）
  - 平均最低気温23.6～23.2度（東京16.5～15.7度）
- 交通機関の概略

### 琉球大学への交通案内 (那覇空港より琉球大学までの経路)

那覇空港	タクシー	45分	約2500円		琉球大学 北口		
	高速バス	40分	530円	琉大入口下車徒歩5分			
	102番 子供の国線	70分	440円	琉大北口下車徒歩5分			
	24番 石川線	那覇バス ターミナル	97, 98番 琉大線	60分	440円	終点琉大	
	10分		27番 屋ヶ名線	60分	中部商業高校前下車	440円	徒歩15分又はタクシー 400円
			90番 バイパス線	50分	中部商業高校前下車	440円	徒歩15分又はタクシー 400円

○案内図

琉球大学工学部案内図



- ① 講演会場 工学研究科大学院棟 ☎903-01 沖縄県中頭郡西原町字千原1  
☎098-895-2221 内線 3257,3251 FAX 098-895-2688
- ② 総会場 大学会館 住所 ① に同じ
- ③ 懇親会場 沖縄レインボーホテル ☎900 沖縄県那覇市松尾1-19-17  
☎098-866-5401,0120-051112 (担当, 与那覇) FAX 098-863-4163

○宿泊施設一覧 (料金はシングル利用一泊朝食付きの場合。サービス料込, 税別)

ホテル名	電話 (市外098-)	料金 (円)
沖縄グランドキャッスルホテル	886-5454	14,000
沖縄オーシャンビューホテル	853-2112	12,000
パシフィックホテル沖縄	868-5162	8,500
沖縄ワシントンホテル	869-2511	9,064
沖縄レインボーホテル	866-5401	7,000
那覇グランドホテル	862-6161	6,800
サンプラザホテル	866-0920	6,500
沖縄郵便貯金保険会館	887-5000	6,160
ホテルエアウェイI	861-1122	5,900
ホテルエアウェイII	864-0511	6,200

### 3. 第163回運営委員会報告

平成3年7月12日に宇宙科学研究所において第163回運営委員会が開催され、以下のような項目について議論を行なった。

- 学会基金による国際学術研究集会参加経費補助の審査 (次項参照)
- 科学研究費補助金審査員選挙
- 日本学術会議第15期地球電磁気研究連絡委員会委員候補者選挙の手順
- 第90回総会並びに講演会 (平成3年秋) の準備。
- 平成4年春の地球科学関連合同学会の開催について
- 学会連合問題の検討に関して
- 新入会員等

### 4. 国際学術研究集会出席補助金受領者

前号の会報で募集しました学会基金による国際学術研究集会への出席補助については1名の応募があり、運営委員会で審査の結果、補助金15万円を贈呈することに決定致しました。

藤本正樹 (宇宙研・東大理院 博士3年)

1991 AGU Fall meeting: Hybrid code simulation of the Kelvin-Helmholtz instability, 1. Transverse case

なお、海外からの本学会講演会への参加助成 (1992年度) については、9月2日締め切りで募集中です。

### 5. 新入会員

第163回の運営委員会で次の10名の方が新入会員として承認されました。

(正会員)	113-1529	中禮正明	気象庁柿岡地磁気観測所
	813-1531	上嶋誠	防災科学技術研究所地圏地球科学技術研究部
	513-1532	窪田将	気象庁柿岡地磁気観測所
	613-1535	佐々木靖人	建設省土木研究所地質化学部
	***-1543	村木紘	名古屋大学太陽地球環境研究所太陽圏部門

(\*\*\* 現在計算機処理中)

(正会員・学生) 113-1530 齊藤晃  
 213-1533 尾坪秀俊  
 913-1534 岡崎隆臣  
 313-1536 藤井郁子  
 013-1537 坂野井健

筑波大学理学部地球科学科  
 東海大学航空宇宙学科  
 東海大学海洋学研究所  
 東京大学海洋研究所海底物理部門  
 東北大学理学部超高層物理学研究施設

学会会員数 (1991年7月現在)

正会員	正会員 (学生)	名誉会員	賛助会員	外国会員
538	95	6	18 (31口)	50

## 6. 日本学術会議第15期地球電磁気研究連絡委員会委員候補者の選出

第14期日本学術会議会員の任期が来る10月20日までとなっているため、すべての研連委員の任期も同日で切れることになっております。本学会会員を選出母体とする地球電磁気学研連の杉浦委員長から、次期研連委員候補者を当学会で至急推薦するよう依頼がありました。この委員の選出は、学会内規(会報107号参照)により以下のように行なうことになっています。

### 地球電磁気研究連絡委員会委員候補者選出に関する内規

1. 地球電磁気研究連絡委員会委員候補者(以下、研連委員候補者と略す)は、地球電磁気・地球惑星圏学会正会員の投票により正会員の中から選出する。但し、研連委員候補者9名の内、1名は地球電磁気・地球惑星圏学会会長をもってあてる。
2. 投票は8名連記無記名とし、得票数の多いものから必要数を研連委員候補とする。

上記の内規に従い添付の投票用紙ならびに大小の封筒により、正会員の方々からの投票(8名連記無記名)をお願いいたします。投票締め切りは8月19日、投票の送付先は日本学会事務センターとして下さい。なお、会員リストも同封いたします。

## 7. 研究会開催案内

### ○「中層大気に関する国際シンポジウム」

日時:平成4年3月23日(月)～27日(金)

場所:新都ホテル(京都駅前)

主催:京都大学超高層電波研究センター

共催:SCOSTEP, COSPAR, URSI, IAMAP, 日本気象学会, 地球電磁気・地球惑星圏学会

内容:大循環, 経年変動, 波動, オゾン, 微量成分, エアロゾル, 放射, 力学化学結合, 環境システム, 中層大気上下結合・南北結合など

参加費:15,000円(平成3年11月30日以前)

20,000円(同12月1日以降)

問い合わせ先:〒611京都府宇治市五ヶ庄 京都大学超高層電波研究センター

電話0774-32-3111内線3352 深尾昌一郎

## 8. 研究助成金案内

東レ科学振興会 / 切1991年10月11日

山田科学振興財団1992年度研究援助 / 切1992年3月31日

この助成金は自然科学の基礎的研究を対象としており、各学会宛に2件以内の推薦依頼が来ています。援助の総件数は10件、総額は6,000万円、1件あたりの援助額は300～700万円とのことです。選考の結果は1992年7月迄に通知されます。

山田科学振興財団1992年度短期来日援助 / 切1991年11月30日

自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事し、高度の研究業績を持つ在外の研究者が、学識を交換して学術の国際交流を促し、また研究を共にして、相互に研究の学際的あるいは国際的進展を図る等を目的として、1992年4月1日～1993年3月31日に短期間（通例3ヶ月以内）来日するための援助（渡航費、滞在中の国内旅費、滞在費等）を行ないます。

#### 山田科学振興財団1992年度派遣援助

自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する研究者を国外に派遣し、学識を交換して学術の国際交流を促し、また研究を共にして、相互に研究の学際的あるいは国際的進展を図る等のため

##### A. 短期間派遣援助

高度の研究業績を持つ研究者を、講演、討論等を主目的として、短期間（通例3ヶ月）派遣するための渡航費の援助。締め切りは出発予定日より4ヶ月以前の月の15日。

##### B. 長期間派遣援助

高度の研究活動を実施しつつある新進研究者若干名を、協同研究への直接参加を主目的として、長期間（通例6ヶ月～1カ年）派遣するための渡航費、滞在中の国内旅費、滞在費等の援助。1992年4月1日～1993年3月31日に出发予定の方の締め切りは1991年11月30日。

日産科学振興財団 切1991年8月31日

研究助成課題：1. 人間と機器の係わり（重点助成）、2. 資源・エネルギー、3. 自然環境及び都市環境、4. 新しい機能材料、5. 生命現象

一般研究助成（A）：全部で10件のうち当学会の推薦枠2件以内

研究が長期にわたる学際的グループ研究（共同研究に限る）。1件1,500万円限度。

一般研究助成（B）：全部で10件のうち当学会の推薦枠2件以内

学際的グループ研究へ向けての調査・準備的研究または短期間に成果が期待できる研究（共同研究に限る）。1件300万円限度。

奨励研究助成：特に推薦枠の指定はない。

若手研究者による萌芽的・独創的研究（個人研究）。200万円限度。

仁科記念奨励金による平成4年度小規模国際研究集会の援助 切1991年8月31日

原子物理学およびその応用に関し、平成5年3月以前に行なわれる小規模の国際研究集会。ここでいう小規模集会とは、原則として総経費（参加費を除く）500万円程度以下のものを指します。また、いわゆるサテライトは親集会とは別個の集会と見做します。援助金は1件200万円。

日本証券奨学財団平成3年度研究調査助成 切1991年8月20日

助成の対象：（理学および工学）新素材および環境改善に関する萌芽的研究を重視する。対象となる者は、大学において学術文化の研究調査に従事している個人またはグループとし、その研究者の年齢は55歳以下となっています。援助の総額は5,000万円、1件あたりの援助額は100万円程度とのことです。

国際コミュニケーション基金平成3年度調査研究に対する助成・援助 切1991年11月30日

助成の対象：国際電気通信の調和ある進歩・発展に寄与する調査研究となっています。1件あたりの援助額は300～1000万円程度とのことです。

これらの研究助成について、詳しくは総務までお問い合わせ下さい。

## 9. 人事公募

### 宇宙科学研究所太陽系プラズマ研究系 助教授1名

○専門分野：飛翔体を用いた地球および太陽系惑星の上層大気プラズマの研究。大学共同利用機関としての当研究所の任務を十分理解し、当該分野の科学衛星プロジェクト（GEOTAIL衛星計画が進行中）その他の共同研究計画の立案・遂行に積極的役割を果たす方を希望します。

○着任時期：決定後できるだけ早い着任を希望します。

○提出書類：略歴、研究歴、論文リスト、および主要論文別刷り、研究計画書（自薦の場合のみ）、推薦書2通（他薦の場合）、自薦の場合は本人について意見を述べられる方2名の氏名および連絡先を記して下さい。



○公募締め切り：平成3年8月20日必着

○宛先：宇宙科学研究所所長 西村純

〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1 電話(代表)0427-51-3911

○問い合わせ、資料請求先：太陽系プラズマ研究系主幹 鶴田浩一郎 内線2503

○その他：選考は宇宙科学研究所運営協議員会に於て行ないます。応募者に適任者がいない場合、決定を保留する場合があります。封筒の表に「助教授応募(推薦)書類在中」と朱書して下さい。

### 神戸大学理学部地球科学教室地球物理学講座 教授1名

○専門分野：広い意味での地球物理学

○公募の主旨：当教室の研究分野は、固体地球科学を中心とする特色のある構成になっています。1990年度の学生臨時増に伴う講座外人事では、分野として太陽系物理学を新たに加え、1992年度には惑星科学講座が新設されることになっています。このように当教室は、教育・研究分野の一層の拡張を積極的に進めています。今回の教官公募でも「固体」を中心とする特色を変えるものではありませんが、広い視野から現在の構成員と共通の場を持つ「広い意味での地球物理学」の研究者を求めています。「広い意味での地球物理学」とは、固体地球物理学に限らず、たとえばAGUがカバーしている範囲とお考え下さい。

○着任時期：1991年度内の予定

○応募書類：履歴書、研究業績目録、主要論文別刷り、参考意見を伺うことができる方2名の氏名および連絡先、これまでの研究内容とこれからの研究・教育に対する抱負(4000字以内)。

○公募締め切り：平成3年9月30日

○宛先：〒657 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学理学部地球科学教室 伊東敬祐

○問い合わせ先：教室主任 電話078-881-1212内線4471/FAX078-882-1549

○その他：「教官応募書類在中」と朱書し、簡易書留にて郵送して下さい。

### 名古屋大学理学部物理学教室 助手1名

○所属部門：惑星間空間物理研究室

○専門分野：惑星間プラズマおよび惑星磁気圏の研究。当面は1992年打ち上げのGEOTAIL衛星の粒子観測データを用いた研究が中心になりますが、広い視野を持ってこの分野の発展に積極的に寄与して下さる方を希望します。

○着任時期：1992年4月1日

○任期：5±2年

○提出書類：履歴書一通、研究歴、着任後の研究に対する抱負、論文リスト、主要論文別刷り----各2部。推薦書または本人について所見を求めうる人の氏名と連絡先。

○公募締め切り：1991年10月15日

○宛先：〒464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学理学部物理学教室 主任 黒田義浩

○問い合わせ先：同教室 052-781-5111内線2441 前沢洵

○その他：「惑星間物理」応募書類在中と朱書きの上、書留とすること。適任者のいない場合は決定を保留することがあります。

### 10. 抄録員募集

日本科学技術情報センターが「JICST科学技術文献ファイル」に収録される抄録(最新論文の150字程度の和文要約)の作成協力者を募集しています。専門分野は超高層大気物理学・磁気圏物理学・惑星間空間物理学等です。連絡先：特殊法人日本科学技術情報センター 情報部地学・資源部門

〒100東京都千代田区永田町2-5-2 電話03-3581-6411内線574

11. 訃報

本学会名誉会員の永田武東京大学名誉教授・国立極地研究所名誉教授は、平成三年六月三日早暁に逝去されました。六月六日のご葬儀にあたり、学会を代表して会長より下記の弔文を捧げました。

永田武先生のご逝去の報に接し、悲しみに耐えません。永田先生は、わが国においても、国際的にも、地球電磁気学の研究をご生涯にわたって指導的な立場から推進してくださいました。地球電磁気学における先生のご業績は、岩石磁気に関する古典的なご研究をはじめとして、昭和基地を開設して超高層大気科学の研究を推進なさったことなど枚挙にいとまがなく、この間に数多くの後進をお育てになりました。永田先生は当学会の前身である日本地球電磁気学会の創設者のお一人として第一期の会長をお勤めになり、また国際地磁気超高層大気物理学学会（IAGA）の会長等を歴任され、内外に大きな足跡をお残しになりました。学問に対して先生がお持ちになっておられた強い情熱は、私達の心に深く刻まれており、末長く後進の励みとなるでしょう。

巨星墜つの思い深く、つつしんでご冥福をお祈りします。

12. 地球惑星科学関連学会連絡会とニュースの発行について

地球惑星科学に関連する10学会の担当委員が4月26日に集まり（気象学会担当委員は都合により欠席）、第1回連絡会を開いた。まず、幹事学会を地震学会とし、末広地震学会担当委員が本連絡会を代表することを決めた。主な討議事項は、来春の合同大会（4月7～10日：京都大学教養部）に向け、実行委員会を組織すること、及び恒常的連絡会ニュース発行のための組織づくりであった。

合同大会に関しては、大会会長を本学会の加藤進委員にお願いするほか、参加学会から代表者を実行委員会に送ること、他の実行委員会メンバーの人選を京都大学関係者にお願いすることなどを決めた。

連絡会ニュースに関しては、編集局を当面の間、本誌SGEPSS担当委員が引き受け、各学会からの通信員をとおして、広く学会間の連絡をとりあうこととなった。第1号は7月に発行され、本会報にも添付されている。連絡会の参加学会、構成メンバー、連絡会ニュース通信員名簿、来春の合同大会の概要等は、このニュースを参照されたい。

<<会報へのご提案、ご意見、情報提供、寄稿、お待ちしております。>>

地球電磁気・地球惑星圏学会

会長 西田篤弘

総務 町田忍

〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1 宇宙科学研究所

電話 0427-51-3911

FAX 0427-59-4236

庶務 林幹治

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学理学部地球物理学教室

電話 03-3815-8020 (直)

FAX 03-3818-0745

運営委員会

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル (財) 日本学会事務センター気付

電話 03-3817-5801

FAX 03-3817-5800

入会申し込み、国際学術交流事業への応募は運営委員会宛、田中館賞推薦は会長宛、研究助成金案内は総務までご連絡ください。